

常任委員会報告

(9月定例会付託議案審査)

総務財務委員会

議第90号「三原市個人情報保護条例の一部改正について」

【要旨】社会保障・税番号制度、いわゆるマイナンバー制度の導入に係る条例改正で、平成27年10月5日に、行政手続

における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆる番号法が施行されることに伴い、本市条例に必要な措置を講ずるため、条例の一部を改正するもの。

【主な質疑の内容】

【問】市民からの開示、訂正等の請求に関する代理人の考え方は。

【答】従前の「個人情報」については、法定代理人に限定しているが、今回の個人情報に個人番号を付した「特定個人情報」については、任意代理人の請求を認めることとしている。

これは番号法の趣旨に

準じた改正であるが、番号法においては、「特定個人情報」について、厳格な保護措置が講じられている一方で、自身の特定個人情報が行政機関など、どのようにやりとりされているかを市民に開示し、知っていたらという視点がある。

将来的にはインターネット上で、実施機関による「特定個人情報」のやりとりを自身で確認できる仕組みが構築される予定となっているが、インターネットを利用されない方、また自ら市役所の窓口に行くことが困難な方等については、任意代理人による請求を認めることで、こうした記録の開示に対応するということが、番号法上で任意代理人が認められた、ひとつの要因だと聞いている。

議第92号「三原市固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について」

【要旨】過疎地域自立促進特別措置法第31条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部改正に伴い、本市条例に所要の整備を行うもの。

【問】課税免除又は不均一課税の適用措置を受ける事業所数や免除額は。

【答】対象事業所数は平成17年度以降減少が続き、現在はゼロ件である。

また、免除額は合併後、平成25年度までで、2億7200万円余りとなっている。

議第98号「山陽本線糸崎構内青木こ線橋補修他工事委託契約の締結について」

【要旨】市道糸崎122号線3号橋梁の補修他工事委託契約を締結するもの。

【主な質疑の内容】任意契約となった経緯は。

【答】鉄道構内での工事のため、列車運行の安全確保、保安上の観点から、専門的な知識を有する、西日本旅客鉄道株式会社と随意契約により締結するものである。

そのほか、「議第94号三原市第三中学校校舎建設工事（建築主体工事）請負契約の締結について」ほか5件について、審査を行った。

【採決】

採決の結果、議第90号、ほか8件について、全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。



市道糸崎122号線3号橋梁

厚生文教委員会

議第99号「三原市手数料徴収条例の一部改正について」

【要旨】「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」、いわゆる番号法の施行に伴い、手数料の徴収に関し、所要の規定を設けるため、条例の一部を改正するもの。

【主な質疑の内容】

【問】番号通知カードと個人番号カードの違いは何か、市民が選択できるのか。

【答】番号通知カードは個人番号をお知らせするものであり、個人番号のほか、氏名・住所・生年月日・性別が記入されている。

個人番号カードは、番号通知カードの情報に加え、顔写真とICチップが入り身分証明として利用できる。個人番号カードを作成する際に番号通知カードは回収するため、ど

ちらか1枚しか持つことは出来ない。
【問】今使用している住民基本台帳カードや市民カードをどう精査しているのか。

【答】住基カードについては個人番号カードを作成時に番号通知カードと一緒に回収し、市民カードについては、当面そのまま自動交付機での証明書発行や印鑑証明の発行に利用できる。

【採決】

この他1件の和解をし損害賠償の額を定めることについてを含めた2件について採決の結果、全員一致提案理由を了とし、原案どおり可決した。



個人番号カードイメージ（内閣府資料より）

議第1001号「字の区域の変更について」

【要旨】 県営経営体育成

基盤整備事業（泉北地区）により、従前の地形が変わった土地の換地処分を行うにあたり、字の区域を現地形態に合わせる変更を要するため、議会の議決を求めるもの。

【主な質疑の内容】

問 今回の字の変更による居住者への影響は。

答 本案は、農地やそれに付随する道路、水路の整備に伴う地形の変更による字の区域の変更であるため居住者への影響はない。



泉北地区ほ場整備

【採決】

採決の結果、全員一致、提案理由を了とし、原案どおりで可決した。

行政視察報告

宮城県気仙沼市

「観光の戦略的展開について」

気仙沼市では、市全体の観光戦略を再構築し、新たな戦略に基づいた観光施策を展開することにより、東日本大震災からの観光産業の復旧・復興を図っている。

特色としては、「海と生きる」「水産と観光が融合したまちへ」をキャッチフレーズに、観光関係者、水産事業者、まちづくり団体など多彩なメンバーによる「観光チーム

気仙沼」を設置し、サメ、カツオ、漁師など気仙沼ならではのストーリーを体感できる体験プログラムの開発等に取り組んでいる。現在も、震災の傷跡が鮮明に残っている気仙沼市であるが、新たな観

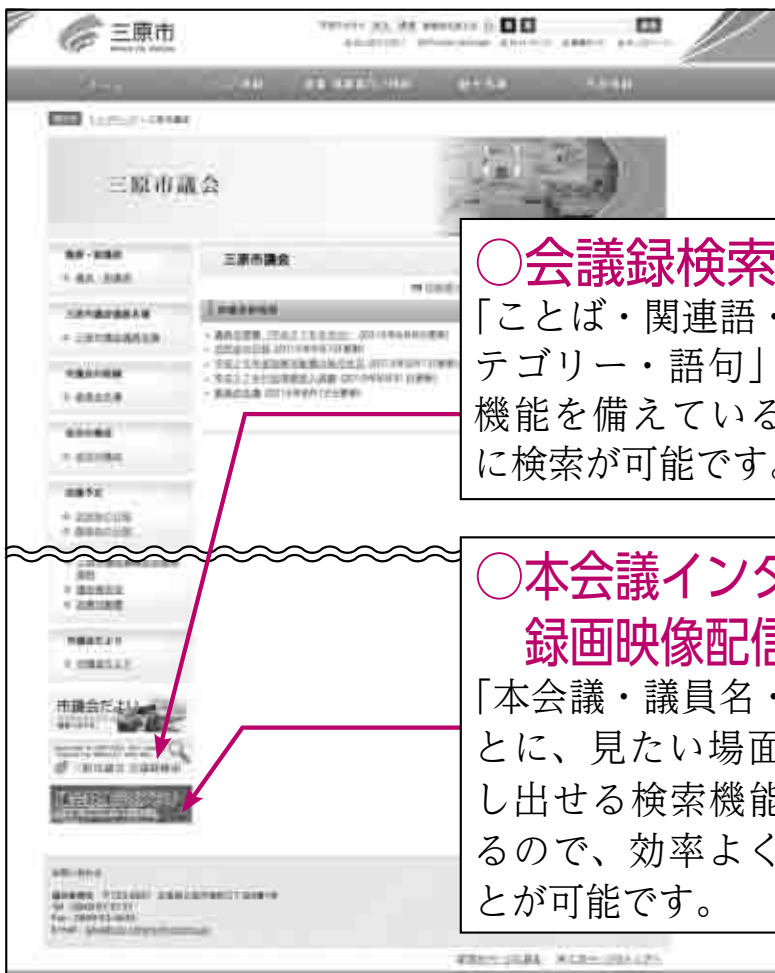
光施策を展開し、復興に向けて尽力されている。

岩手県奥州市

「地域六次産業化の推進について」

奥州市は、米とピーマンが県内第一位、全国でもトップ10に入っている。さらに、前沢牛、江刺金札米など、全国的に知名度の高い農産物のブランドにも恵まれている。しかし、その強みやブランド力が「奥州市」に結び付かず、市の知名度に結びついていなかった。そこで、農業者、食品加工業者、消費者、市職員による「奥州市地域六次産業化ビジョン策定チーム」が、同ビジョンを策定した。このビジョンの目的は、これまで連携が薄かった農業と商業、工業との連携を深めて、農林畜産物の付加価値を高めながら、地域ぐるみの産業振興を目指すこと、奥州市と産品の知名度を高めていくことである。奥州市は、官民一体で地域六次産業化の推進に取り組まれている

三原市議会の情報を発信しています



○会議録検索システム

「ことば・関連語・発言者・カテゴリ・語句」などの検索機能を備えているので、容易に検索が可能です。

○本会議インターネット録画映像配信

「本会議・議員名・会派名」ごとに、見たい場面を簡単に探し出せる検索機能を備えているので、効率よく視聴することが可能です。



三原市議会のホームページには、録画による本会議の審議状況の視聴と、本会議の会議録や委員会の記録の閲覧がいつでもできます。

三原市議会のホームページは、「三原市議会」で検索いただければ検索結果に表示されます。

三原市議会トップページ